

のアルバム

▼8月21日 市役所



ファイナル優勝3連覇

全日本マウンテンバイク選手権クロスカントリー男子U 23 ファイナルで3連覇を達成した沢田時さん（三上）は、アンドラ公国（フランスとスペインに挟まれた国）で開催されるMTB世界選手権 2015 に出場されます。

標高 2,000 m を越える高地で高低差のある厳しいコース競技です。前輪 2 段、後輪 11 段の愛車とともに 8 月末に出発しました。

期待が寄せられる中「今回は結果を残したい」と語ってくれました。

見事！！銀メダル

アメリカのロサンゼルスで開催された、スペシャルオリンピック夏季世界大会（バドミントン競技）に出場された南高太郎さん（久野部）が男子シングルの部と混合ダブルスの部で銀メダル、男子ダブルスの部で銅メダルを受賞し市長に報告に訪れました。

南さんは、「大会に出場出来たのは、皆さんのサポートがあり良い結果となりました。ご声援ありがとうございました。」と話されてました。



▼8月25日 市役所



▼8月25日 市内小中学校



児童・生徒のために

野洲市商工会建設作業部会の部会員 30 人が、市内小中学校の児童や生徒たちがより快適な学校生活を送れるように学校の教室ドアや備品などの修繕作業を行いました。

当日は、台風の影響で天候の悪い中、培った技能を存分に発揮していただきました。

この奉仕活動は、毎年、市内の小中学校を対象として取り組まれています。

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(133)

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

ちくげいか すぎ たじょうざん 竹芸家・杉田静山

杉田静山さんは、日本を代表する竹工芸作家の一人で、野洲市在住の滋賀県無形文化財保持者です。1932(昭和7)年大阪に生まれ、12歳のとき病気により聴力を失いました。13歳で戦災にあい、両親の故郷の野洲市に移り住むことになります。この頃に、野洲川に生い茂る竹を用いた竹細工と出会い、見よう見まねで竹籠を作り始めました。

やがて、竹工芸の作品づくりに取り組むようになり、独学で仕事の合間に制作を続けます。特定の師につくことはなく、優れた作品を観察して工夫しながら、独自の技を磨いていきました。37歳のとき初めて日展に入選し、その後、日展や日本伝統工芸展で入選、受賞を重ねています。近年は、ニューヨークやロンドンに招かれて作品展示や実演を行うなど、海外でも注目されています。

杉田さんは、素材の竹ひご作りに時間を費やし、割って丁寧に削られたその一本一本は非常に細く、編みあがると繊細な作品に仕上げられています。竹のしなやかさを生かした優美な作風は、見る人を引き込んでいく不思議な魅力を持っています。作品名は「海の調べ」「潮の音」「うずしお」「さざなみ」など、自然をイメージしたものが多く、暖かみのある造形を生み出しています。

企画展では作品を一堂に展示し、作風の変遷や制作用具なども紹介しています。繊細な編組による独自の技と、その作品の美の世界をご鑑賞ください。

(博物館学芸員 行俊勉)

■秋期企画展「竹工芸の技と美—杉田静山作品展—」

10月3日(土)～11月23日(祝)

[休館日：月曜日(祝日は開館)・10月13日・11月4日、市民は入館無料]



竹芸家・杉田静山さん(撮影：寿福滋)



ビワマス遡上プロジェクトが設立

秋季に家棟川を遡上する「ビワマス」の生息環境を保全・再生することを通じて、まちづくりや地域の活性化につなげることを目的として、「家棟川・童子川・中の池川にビワマスを戻すプロジェクト」が結成されました。

このプロジェクトは、環境基本計画推進会議(えこっち・やす)で活動する市民団体、地元自治会、企業、市、県、専門家らで組織され今後は、ビワマスの産卵床の造成や違法捕獲の監視、魚道の設置等に向けた検討や取り組みを進められます。

▼8月5日 市民活動支援センター



母校に恩返し

野洲北中学校生徒会が地域への恩返しの気持ちを込め、野洲駅前でのあいさつ運動と母校である3小学校(北野小・祇王小・篠原小)周辺で清掃活動を行いました。

清掃活動では、生徒会事務局・執行部と生徒の有志が集結し、日頃の感謝を込めて活動を行いました。

▼8月24日 北野小学校周辺

